

れんごう中越地協

第1018号2019. 11. 1
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含まれる



連合中越地協「農業・食料・環境問題を学ぶ」

ソバの収穫体験は15分程

「農業・食料・環境問題を学ぶ中越地区実行委員会は、10月6日(日)にそばの刈り取り体験を催し、総勢41名が集った。前線の影響か空模様



が心配される曇り。そばの畑は、昨年の経験から畝が作られてい



た。みつけそば同好会の判断で、収穫体験を行う事となった。最初に矢島実行委員



空模様が心配される中、畑でそばの刈り取りがはじまった。そば同好会の方の指導を受けて、子どもたちと一緒

に少しずつ刈りはじめた。少ししたら雨粒が落ちてきた。次第に強く

なっているもの、花を咲かせているもの、倒れかけているもの、土しかのこっていないものなど、育てた人の個性がにじみ出ているよう

で、全員で優秀と思うものに1票を投じた。その後は、食やアレルギーに関連したDVDを視聴し学んだ。視

聴後には、「みんなで挑戦!食べものクイズ20問」に挑戦した。満点の人はいなかったが、楽しく学べたよう

だ。ここからは、お待ちかねの豚汁とおにぎり等の昼食タイム。用意された豚汁は70食分。お替り自由で、3

杯以上の人もいた。次に、バケツそばコンテスト投票結果の発表と表彰があり、図書券が渡され、クイズ上位者にはそば道場のそば券が商品として渡され

た。今年のソバは、台風の影響を受けつつも、実りを迎えたが、天候で刈り取りが少ししかできなかった。天候が農業に大きく影響していることを学んだ一日であった。

ワーク&ライフフォーラム 基調講演は菊池さん 9月28日、新潟市東映ホテルにおいて今年度の「ワーク&ライフフォーラム」が開催された。最初に実行委員長

の「石本新潟地協議長」の開会挨拶で始まり、メインである「菊池桃子」さんの記念講演に移った。菊池桃子さんは現在51歳

で、若いころはアイドルとして活躍してきた。今は、女優として短大の客員教授として活動をされている。自己紹介の後、自分の子供たちについて話をされた。長男は既読の大会(本などを早く読んで内容を記録する)で全国優勝を果たしていること。ただその話だけでは「鼻持ちならない親」ということになってしまおうと思うのですが」と自分から

切り出し、その後、次男がお腹の中で死んでしまったこと。出産が怖くなったことなどを話された。次男の話はあまりしたことがないとのこと。ちなみに芸能界ではあまり「不幸な話」はできないとも。そして長男の出産から5年後に長女を出産したとのことだが、1歳で脳梗塞を起こし障害を持っていて、この長女は負けず嫌いでいろいろ努力をし、最初は歩けなかつたけど歩けるようになった、小走りでも走

れるようになったと娘の成長の話を嬉しそうに話された。最後にこれからの社会について、少子化問題、コンピュータと人間との関係、遠隔手術やパワースーツなどの科学の発展などの話をされていたが、アイドル菊池桃子とは違う人間菊池桃子の姿を見ることが出来た。(金内孝永)

か。「大人たちの世界にいいめはない!」と言いつけるでしょう。会社や職場、地域でつらい思いをしている方はいませんか? 「〇〇ハラスメント」とよく聞きますが、加害者と被害者と傍観者がいるあたり「いじめ」とその構図が似ているように思います▼「いじめ」をうけて、苦しんで命を絶つ子どもがいます。学校に行くと友達と楽しく過ごすことができない子どもがいます。いじめを見逃さない、いじめを許さない態度を育むために、私たち大人がしなければならぬことがまだまだたくさんあるように思います。「誰か」に頼るのではなく、「自分」から行動を起こしていきましょう。私たちの力は微力ではあるが、無力ではないと思います。

第11回委員会開く

11回委員会を10月24日(木)午後6時30分から開いた。

会議では、ヤングユニオンサークル交流会と列島クリーンキャmpaignの反省や総会日程等を協議した。

サラリーマン川柳(浮気より 安否気になる 年となり) (ダイエット 負けて味覚の 秋を知る) (血圧が 高いと機械 疑って) (きれいより うまいと言われる 化粧法)

サラリーマン川柳(夏太り) 戻らぬうちに 秋太り(家計簿が) 税!税!税!と 過呼吸だ(「気にするな」) 言われて初めて 気にしだし(愛犬に) 見せる笑顔を 夫にも

借金でお困りではありませんか?
誰にも言えずにひとりで悩んでいませんか?

土曜日
開催

借金返済に関する 無料相談会

消費者金融(サラ金)や、クレジット等で多額の借金を抱えてお困りの方を対象に、弁護士・司法書士による無料相談会を開催します。

期 日：令和元年11月30日(土)
時 間：午前10時から午後4時まで
会 場：長岡市消費生活センター
〔長岡市大手通2-2-6
ながおか市民センター2階〕

事前に電話予約が必要です

申 込：令和元年11月27日(水)まで
申 込 先：長岡市消費生活センター
☎0258(32)0022
毎週水曜日にも相談会を実施しています。
また、電話でのご相談は随時受付けています。

連合中越加盟単組紹介

—UAゼンセン栃尾繊維労働組合—



当栃尾繊維労組は9月8日(日)に第72回定期大会を開催し、メインテーマ「全員参加の組合活動へ」を活動方針とし、また役員改選があり新役員体制等決定頂き、新年度がスタートいたしました。

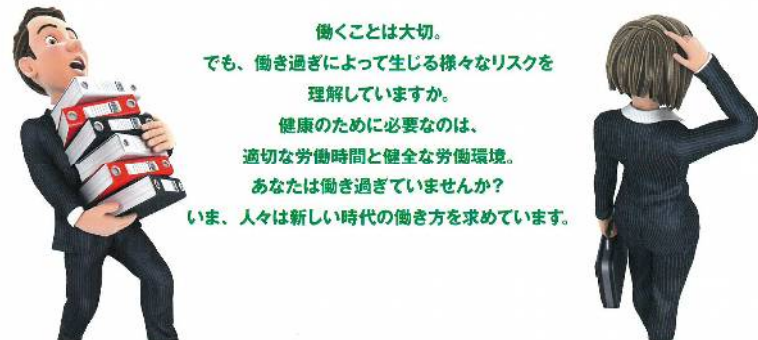


組合員70名と弱小組合になりましたが、全員が組合活動に参加・参画してもらえよう組織強化を図り、

研修会、全労済、労働金庫の勉強会、UAゼンセン共済の説明会やレクリエーションも計画し、組合員全員の幸せを築いていきます。



働き過ぎていませんか?



働くことは大切。
でも、働き過ぎによって生じる様々なリスクを理解していますか。
健康のために必要なのは、適切な労働時間と健全な労働環境。
あなたは働き過ぎていませんか?
いま、人々は新しい時代の働き方を求めています。

~トップが決意を持って、長時間労働の削減に向けた取組を推進しましょう。~

毎年11月は「過労死等防止啓発月間」です。
同月間に「過重労働解消キャンペーン」を実施します。

無料 過重労働等に関する相談はこちら 0120-794-713
10月27日(日) 9:00~17:00

専用WEBサイト 過重労働解消キャンペーン



厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署

毎年11月は「過労死等防止啓発月間」です。

過労死等防止対策推進法では、国民の間に広く過労死等を防止することの重要性について自覚を促し、これに対する関心と理解を深めるため、毎年11月を「過労死等防止啓発月間」と定めています。
国民一人ひとりが自身にも関わるものとして過労死等とその防止に対する理解を深めて「過労死ゼロ」の社会を実現しましょう。

※「過労死等」とは、業務における過重な負荷による脳血管疾患もしくは心臓疾患を原因とする死亡、もしくは業務における強い心理的負荷による精神障害を原因とする自殺による死亡またはこれらの脳血管疾患、心臓疾患、精神障害のことです。

過重労働解消キャンペーンのほか、「過労死等防止対策推進シンポジウム」を開催します。

過労死をゼロにし、健康で充実して働き続けることのできる社会の実現に向け、過労死等とその防止について考えるシンポジウムを、過労死等防止啓発月間を中心とした期間に開催します。
また、過労死等防止啓発のためのパンフレットの配布や新聞、インターネットなど各種媒体を活用した周知・啓発を行います。

○過労死等防止対策推進シンポジウム

全国47都道府県において計48回開催します。
(無料でどなたでも参加できます。)
開催会場によって開催日時やプログラムは異なりますので、詳細は専用ホームページで御確認ください。

専用ホームページ <https://www.p-unique.co.jp/karoushiboushisympo/>

厚生労働省などでは、11月を「しわ寄せ防止キャンペーン月間」に位置づけました。

事業主の皆さまへ

大企業・親事業者による長時間労働の削減等の取組が、下請等中小事業者に対する適正なコスト負担を伴わない短納期発注、急な仕様変更などの「しわ寄せ」を生じさせる場合があります。適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更などはやめましょう!

